

<お願い>ストップ！コンビニ受診

緊急性のない軽症の方が、夜間や休日に救急医療機関に来院し、気軽に治療を求めることを「コンビニ受診」といい全国的にも問題となっています。

船橋市は、人口当たりの小児科医師数が全国的に見てもかなり少ない地域であり、ここ10年間で複数の病院が小児科医師の不足により病床の閉鎖に追い込まれています。

このような状況の中、コンビニ受診が増加すると、救急医療機関が担うべき重症患者への対応が困難となって、早急に治療が必要な患者の対応が遅れる恐れがあるとともに、ひいては小児救急医療体制が破綻する事態となり、現在でも小児二次救急病院本来の重症な小児患者の診療に支障が出ています。小児二次救急病院は、初期（一次）救急医療機関から紹介を受けた小児患者の診療を行っています。



地域医療を守るため、適切な受診をお願いします。

船橋市 小児救急ガイドブック

～いざというときに、あわてないために～



発行・編集 船橋市 健康福祉局 健康・高齢部 健康政策課
監修 一般社団法人船橋市医師会

平成29年6月発行